平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年２月８日

上 場 会 社 名	国際計測器株式会社	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	7722	URL	http://www.kokusaikk.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	松本　繁
問合せ先責任者	（役職名） 取締役総務部長	（氏名）	松本　博司　　(TEL) 042-371-4211
四半期報告書提出予定日	平成25年２月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	6,337	△9.2	333	△26.5	308	△24.3	145	△26.4
24年３月期第３四半期	6,982	18.2	452	△16.1	408	21.6	197	△8.9

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　　280百万円（ 519.1%）　24年３月期第３四半期　　45百万円（　　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	10.39	―
24年３月期第３四半期	14.12	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	12,927	6,046	46.5
24年３月期	12,886	6,255	48.3

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　　6,015百万円　　24年３月期　　6,227百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	20.00	―	20.00	40.00
25年３月期	―	15.00	―		
25年３月期(予想)				15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△3.4	1,200	4.7	1,100	△6.2	620	11.4	44.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は添付資料P.5「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	14,200,000株	24年３月期	14,200,000株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	184,556株	24年３月期	184,539株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	14,015,454株	24年３月期３Ｑ	14,015,471株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報…… 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報…… 4
(3)　連結業績予想に関する定性的情報…… 4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 5

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 5
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 5
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 5

３．四半期連結財務諸表…… 6

(1)　四半期連結貸借対照表…… 6
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 8
(3)　継続企業の前提に関する注記……10
(4)　セグメント情報等……10
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……11

４．補足情報……12

生産、受注及び販売の状況……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、中国及び東南アジア地域の自動車及びタイヤメーカーの設備投資が、引き続き堅調に推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した新しい研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランシングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーから製造ライン向けタイヤ関連試験機及び国内大手自動車部品メーカーより電気サーボモータ式振動試験機を中心に85億８千４百万円の受注を獲得致しました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、63億３千７百万円（前年同四半期比9.2％減）、営業利益は３億３千３百万円（前年同四半期比26.5％減）、経常利益は３億８百万円（前年同四半期比24.3％減）、四半期純利益は１億４千５百万円（前年同四半期比26.4％減）となりました。

売上高につきましては、シャフト歪自動矯正機や電気サーボモータ式振動試験機が増加したものの、中国のタイヤメーカーの設備投資が一巡したことによりバランシングマシンが減少したことから、前年同四半期を下回りました。

利益面につきましても、減収による影響から、前年同四半期を下回りました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

シャフト歪自動矯正機や電気サーボモータ式振動試験機が増加したものの、中国のタイヤメーカーの設備投資が一巡したことによりバランシングマシンが減少したことから、売上高は50億３千８百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益（経常利益）は４億１千４百万円（前年同四半期比224.1%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

材料試験機の前連結会計年度から繰り越した受注残が少なかったことや受注の減少により、売上高は４億１千５百万円（前年同四半期比41.3%減）、セグメント損失（経常損失）は４千５百万円（前年同四半期は８千７百万円の利益）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が堅調に推移したことや大手タイヤメーカー向けバランシングマシンが予定通りに検収されたものの、一部原価率が高い案件があったことなどにより、売上高は６億１千０百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益（経常利益）は８千３百万円（前年同四半期比34.8%減）となりました。

〔韓国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注が一巡したことなどから、売上高は９億３千６百万円（前年同四半期比7.0%減）、セグメント利益（経常利益）は１億８千５百万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

〔中国〕

バランシングマシンが堅調に推移したものの、手数料収入が減少したことなどから、売上高は３億４千０百万円（前年同四半期比1.1%減）、セグメント損失（経常損失）は１千４百万円（前年同四半期は４千５百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、79億０百万円（前連結会計年度末比７億３千８百万円減）となりました。これは、受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比４億５千３百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比11億５千５百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、50億２千７百万円（前連結会計年度末比７億７千８百万円増）となりました。これは、本社第三工場の改築に伴い建設仮勘定が増加（前連結会計年度末比６億４千６百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、45億８千６百万円（前連結会計年度末比２億５千９百万円減）となりました。これは、運転資金を調達したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比３億５千万円増）したものの、仕入が減少したため支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比６億３千８百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、22億９千４百万円（前連結会計年度末比５億１千０百万円増）となりました。これは、設備投資資金及び長期運転資金を調達したことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比５億８百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、60億４千６百万円（前連結会計年度末比２億９百万円減）となりました。これは、円安ウォン高等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比１億６千３百万円増）したものの、期末及び中間配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比３億４千４百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

例年、第２四半期及び第４四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成24年11月９日発表の通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,680,671	2,743,382
受取手形及び売掛金	3,349,950	2,194,339
商品及び製品	204,645	237,647
仕掛品	1,411,021	1,865,013
原材料及び貯蔵品	514,841	495,214
繰延税金資産	260,059	210,149
その他	224,334	159,191
貸倒引当金	△6,956	△4,577
流動資産合計	8,638,568	7,900,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,577,082	1,440,177
機械装置及び運搬具	183,521	177,897
土地	1,669,963	1,673,640
建設仮勘定	1,406	647,804
その他	152,394	130,545
減価償却累計額	△1,198,737	△1,056,583
有形固定資産合計	2,385,631	3,013,482
無形固定資産		
のれん	35,281	－
その他	56,773	56,548
無形固定資産合計	92,054	56,548
投資その他の資産		
投資有価証券	257,092	204,758
長期貸付金	34,964	31,880
繰延税金資産	106	763
保険積立金	1,457,629	1,607,382
その他	45,076	147,654
貸倒引当金	△24,323	△35,344
投資その他の資産合計	1,770,544	1,957,094
固定資産合計	4,248,230	5,027,125
資産合計	12,886,799	12,927,487

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,285,056	1,646,963
短期借入金	450,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	689,432	819,744
未払法人税等	337,205	53,684
賞与引当金	131,798	51,849
製品保証引当金	183,812	190,242
前受金	514,194	643,465
その他	255,059	380,719
流動負債合計	4,846,558	4,586,668
固定負債		
長期借入金	1,271,996	1,780,736
繰延税金負債	180,012	164,941
退職給付引当金	194,711	204,099
役員退職慰労引当金	133,423	140,623
資産除去債務	4,242	4,312
固定負債合計	1,784,385	2,294,713
負債合計	6,630,944	6,881,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,069,853	4,725,002
自己株式	△150,946	△150,957
株主資本合計	6,878,406	6,533,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,245	56,540
為替換算調整勘定	△737,691	△574,448
その他の包括利益累計額合計	△650,446	△517,907
少数株主持分	27,895	30,469
純資産合計	6,255,855	6,046,106
負債純資産合計	12,886,799	12,927,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	6,982,080	6,337,102
売上原価	4,671,248	4,142,909
売上総利益	2,310,831	2,194,192
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	144,861	109,773
貸倒引当金繰入額	3,266	6,987
役員報酬	126,150	124,785
給料手当及び賞与	444,865	444,753
賞与引当金繰入額	23,227	17,213
退職給付費用	20,208	21,010
役員退職慰労引当金繰入額	7,067	7,200
運賃	198,572	195,310
減価償却費	16,891	18,115
研究開発費	26,510	4,451
その他	846,251	911,584
販売費及び一般管理費合計	1,857,872	1,861,185
営業利益	452,959	333,007
営業外収益		
受取利息及び配当金	37,120	40,069
為替差益	－	18,741
その他	29,560	22,669
営業外収益合計	66,681	81,480
営業外費用		
支払利息	21,430	20,702
持分法による投資損失	75	4,875
売上債権売却損	6,349	6,817
支払手数料	21,105	28,720
為替差損	50,281	－
デリバティブ評価損	6,811	42,289
保険解約損	665	1,809
その他	4,683	307
営業外費用合計	111,403	105,523
経常利益	408,237	308,963
特別損失		
固定資産除却損	1,917	305
固定資産売却損	261	－
特別損失合計	2,179	305
税金等調整前四半期純利益	406,058	308,657
法人税、住民税及び事業税	168,500	109,168
法人税等調整額	39,760	51,954
法人税等合計	208,260	161,123
少数株主損益調整前四半期純利益	197,797	147,534
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△124	1,844
四半期純利益	197,922	145,690

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	197,797	147,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,845	△30,704
為替換算調整勘定	△172,006	163,873
持分法適用会社に対する持分相当額	△279	100
その他の包括利益合計	△152,439	133,268
四半期包括利益	45,358	280,803
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,467	278,229
少数株主に係る四半期包括利益	△3,108	2,574

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	4,796,999	707,882	583,408	653,401	225,515	6,967,208	14,871	6,982,080
セグメント間の内部売上高又は振替高	269,905	－	455	353,689	118,931	742,981	56,353	799,334
計	5,066,904	707,882	583,864	1,007,091	344,446	7,710,189	71,225	7,781,415
セグメント利益又は損失（△）	127,926	87,614	128,702	263,022	△45,864	561,402	14,964	576,366

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	561,402
「その他」の区分の利益	14,964
セグメント間取引消去等	△168,128
四半期連結損益計算書の経常利益	408,237

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	4,508,738	414,572	607,963	512,951	251,759	6,295,986	41,115	6,337,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	529,428	677	2,660	423,611	89,065	1,045,443	24,291	1,069,735
計	5,038,166	415,250	610,624	936,563	340,824	7,341,429	65,407	7,406,837
セグメント利益又は損失（△）	414,614	△45,968	83,912	185,594	△14,669	623,483	△5,968	617,515

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	623,483
「その他」の区分の利益	△5,968
セグメント間取引消去等	△308,551
四半期連結損益計算書の経常利益	308,963

３　報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

区　分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	4,193,550	△11.9	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	584,045	＋24.5	日本(国際)
材料試験機	415,250	△41.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	685,875	＋26.8	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	449,240	△11.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	6,327,960	△9.4	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

区　分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	5,046,069	△10.4	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,712,547	＋74.4	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	658,593	△31.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	674,444	△2.9	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	493,019	＋3.6	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	8,584,674	△1.8	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第３四半期連結累計期間末（平成24年12月31日）

区　分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	4,896,041	△11.2	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,081,096	＋67.7	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	304,337	△31.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	716,275	＋5.8	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	79,802	＋12.5	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	8,077,552	＋1.6	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

区　分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	4,202,920	△11.7	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	584,046	＋24.8	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	415,250	△41.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	685,878	＋26.8	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	449,006	△11.5	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	6,337,102	△9.2	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。